

2019年度【仙台地区】

登録 A L C 基幹技能者講習 修了試験
問 題

1. 試験時間：60分
2. 問題数：25問（四者択一式：「最も不適當」な選択肢を選ぶ）

一般社団法人 A L C 協会

問題 1 登録基幹技能者に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 登録基幹技能者は、熟達した作業能力、豊富な知識、現場を効率的にまとめるマネジメント能力を備え、専門工事業団体の資格認定を受けた者である。
- 2 登録基幹技能者は、工事の品質・コスト・安全等への貢献とともに、技能労働者の目標像としての活躍が期待されている。
- 3 登録基幹技能者の活用により、設計事務所の受注機会の拡大が考えられる。
- 4 登録基幹技能者の活用では、建設業界の担い手の確保・育成に大きく寄与することが期待されている。

問題 2 A L C 技能者の発展段階を述べたものに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 建設現場における直接施工に従事する A L C 技能者の発展段階は、大きく 3 つに分類できる。
- 2 登録 A L C 基幹技能者は、発展段階における上級職長を示すものである。
- 3 発展段階における初級 A L C 技能者は、職種に対応した資格を有し、優れた直接的施工能力を持っている。
- 4 A L C 職長は、担当工事現場の責任者として、工程・施工・安全等の管理と作業の指揮・指導を行う登録 A L C 基幹技能者になりうる資格を有するものである。

問題 3 登録基幹技能者の役割に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 現場の状況に応じた施工方法等の提案、調整等
- 2 現場の作業を効率的に行うための技能者の適切な配置、作業方法、作業手順等の構成
- 3 設計者に対する施工に係る指示、指導
- 4 前工程・後工程に配慮した他の職長との連絡・調整

問題 4 (一社)日本建設業連合会(以下、「日建連」という)に加盟している元請企業団体における登録基幹技能者の評価・活用に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 日建連では、平成26年に発表した「建設技能者の人材確保・育成に関する提言」の施策の一つとして、優良職長手当制度を設けた。
- 2 登録基幹技能者の中から、日建連会員企業が特に優秀と認めた者を優良技能者と認定することとした。
- 3 日建連では、登録基幹技能者のうち優良技能者の年収が数十万円増加となるよう努めることとしている。
- 4 日建連では、技能者の中で職長資格のみを支給条件としている。

問題5 登録基幹技能者の評価・活用に関して、最も不適当なものはどれか。

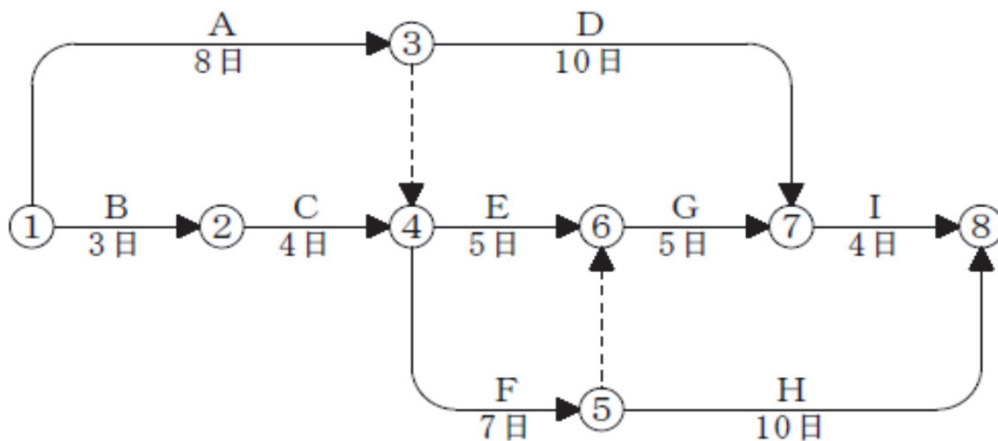
- 1 技能労働者の位置付けを総合評価方式の評価対象とすることにより、登録基幹技能者を積極的に育成している企業が元請企業から活用される機会が増え、優良な専門工事業者の確保、優良な技能者の処遇改善につながり、ひいては若年者の入職促進、技能の伝承につながる。
- 2 公共工事の品質確保やインフラの維持管理のため、中長期的な担い手が求められる中、登録基幹技能者制度は技能労働者のレベルアップにつながる。
- 3 登録基幹技能者制度のさらなる普及により認定者が増加し、地域差等が解消されれば、元請業者だけでなく、下請業者を含めて施工能力を評価する有効な評価指標となる。
- 4 技能者の中で登録基幹技能者を目指すことは高度であることから、本制度の継続は至難であり、今後、優良な技能者を育成することは、ほぼ不可能であると考えられる。

問題6 OJT教育における一般事項に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 作業着の着用方法及び安全具の付け方
- 2 挨拶の方法
- 3 近隣へのあいさつ
- 4 後片付け

問題7 下図の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 このプロジェクトの所要日数（工期）は、26日である。
- 2 この工程表は、ネットワーク式工程表である。
- 3 この工程表のクリティカルパスは、A→F→Hである。
- 4 この工程表における作業Eのトータルフロートは、3日である。



問題8 法で定められた建設現場における安全管理に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 現場では、整理、整頓、清潔、清掃の「4S」に努め、廃棄物は決められた場所に捨てることを徹底する必要がある。
- 2 作業主任者の配置が必要な作業として、高さ5m以上の足場の組立または解体の作業がある。
- 3 労働安全衛生法では、安全衛生教育として雇入時の雇入時教育及び作業所への新規入場者教育は任意となっている。
- 4 複数業者が混在する現場の1次下請けや2次下請けの業者は、安全衛生責任者を選任する必要がある。

問題9 特性要因図作成のためのブレインストーミング(BS)に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 現象を数値的・定量的に分析する。(品質管理:QCの7つ道具)
- 2 粗野な考えを歓迎する。(自由奔放)
- 3 量を重視する。(質より量)
- 4 アイディアを結合し発展させる。(結合改善)

問題10 建設業法における建設業の許可に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 建設業許可の有効期限は許可を受けてから5年間、以降5年ごとの更新が必要である。
- 2 建設業の許可を受けるためには、経營業務管理責任者、専任技術者、誠実性、財産的基礎の4つの要件を備えていることが必要である。
- 3 特定建設業許可の場合は監理技術者相当、一般建設業許可の場合は主任技術者相当の技術者を配置する。
- 4 公共性のある施設に関する建設工事を発注者から直接請け負おうとする建設業者は経営に関する客観的事項については審査を受ける必要がない。

問題11 足場からの墜落防止対策強化に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 組立等の際に、困難な場合を除き、幅40cm以上の作業床を設置することが必要となるのは、高さが5m以上の構造の足場である。
- 2 足場の組立て等の作業に従事する労働者には、特別教育が必要となる。
- 3 建設業の元請事業主等の注文者は、足場の組立て等の後は、次の作業を開始する前にその状態を点検し、危険のおそれがあるときは、速やかに修理しなければならない。
- 4 一側足場、つり足場を除く足場の作業床に関する墜落防止措置として、床材と建地との隙間を12cm未満とする。

問題12 施工管理の概要に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 施工計画は、工事施工にあたり、請負契約書及び設計図書や現場条件などを検討し、どのように目的物を完成させるかについて示すものである。
- 2 安全管理は、第三者や作業員の安全を確保するために行うものである。
- 3 環境管理は、工事による騒音や振動、水質汚濁など環境に与える影響を最小限にするものである。
- 4 品質管理は、請負契約と施工計画から材料費、労務費、現場経費などの工事に関わる原価を算出し、実行予算通りに実施できるようにするものである。

問題13 施工要領書に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 施工要領書は、工事開始前に予想されるさまざまな施工上の問題を、工事の進捗につれてどのように対処すべきかを事前に検討するものである。
- 2 施工要領書は、設計図書に明示されていないもの、もしくは各種の事情により明示しにくいものについて、現場条件を考慮・検討して明示する。
- 3 施工要領書は、特に経済性と品質の維持向上に重点を置き、現場環境、設備内容、工程等のさまざまな条件を考慮し、適切な施工方法を選定する。
- 4 施工要領書は、職長など一部の作業員に周知すればよい。

問題14 会社経営と工事現場の原価管理に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 請負契約時には、かなり精度の高い見積原価を算出して、利益予測を行わなければならない。
- 2 限られた時間の中で行う見積書の作成では、施工計画の詳細までは検討ができない。
- 3 契約後に現場条件に合わせた施工計画の詳細を検討し、「実行予算の作成」を行うことになる。
- 4 作成した実行予算を枠組みとして発注し、資機材や労務を管理し、予算内に収めるように「予算実績管理」をする。

問題15 専門工事業者の原価管理に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 建設業界においては、技能労働者の社会保険加入率が低いことが大きな問題となっているが、技能労働者の処遇改善のため、業界だけで社会保険の未加入対策が進められている。
- 2 国土交通省では、各専門工事業者団体に対して、法定福利費の内訳を明示した見積書の作成を働きかけている。
- 3 国土交通省は、「元請負人及び下請負人は見積時から法定福利費を必要経費として適正に確保することが必要」として、不当に低い請負代金にならないように指導している。
- 4 見積書で内訳明示が求められている法定福利費の対象は、健康保険料、厚生年金保険料、雇用保険料のうち技能労働者の事業主負担分である。

問題16 設計品質と施工品質に関して、最も不適当なものはどれか。

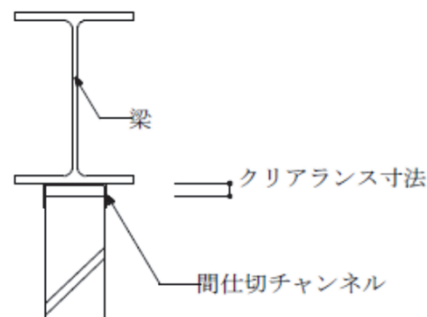
- 1 品質には設計段階で定められる「ねらいの品質」である設計品質と、施工段階で実現する「出来ばえの品質」である施工品質がある。
- 2 発注者は関与せず、設計・監理者と総合工事業者、専門工事業者が設計品質を最終的に施工品質で実現することになる。
- 3 設計品質の内容と決め方には、「仕様規定」と「性能規定」がある。
- 4 「仕様規定」は求める品質がより具体的に表現され、その成否の判断も明快に行えるが、施工に関わる技術革新や経済・社会の変化への柔軟な対応が難しい。

問題17 品質管理QC（Quality Control）に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 品質管理において、顧客の要求条件を満たす品質をつくり出すことが目的であるが、部材強度・寸法等のばらつきをコントロールすることはできない。
- 2 品質管理とは、「買い手の要求に合った品質の物又はサービスを経済的につくり出す」とことと定義されている。
- 3 顧客の要求条件を満たす品質を「経済的に作り出す」ためのカギは、品質のばらつきがランダムに発生するのではなく、正規分布にしたがうという特性に着目することである。
- 4 建設現場において、統計的・客観的・分析的な視点からQC 7つ道具を活用して、効率的にQC活動を行うことができる。

問題18 梁の直下に間仕切壁用ALCパネルが取りつく場合の梁とパネルのクリアランス寸法に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 5 mm
- 2 10 mm
- 3 15 mm
- 4 20 mm



問題19 ALCパネル工事に係る工事の範囲に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 鉄骨造の外壁・間仕切壁において、持出し鋼材は鉄骨工事の工事範囲である。
- 2 鉄骨造の屋根・床において、柱まわりの下地鋼材は鉄骨工事の工事範囲である。
- 3 鉄筋コンクリート造の外壁・間仕切壁において、基礎やスラブへ埋め込むアンカーはALCパネル工事の工事範囲である。
- 4 木造の屋根・床において、下地木材は木工事の工事範囲である。

問題20 敷設筋(ふせつきん)構法のALCパネル取付け方法に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 パネル長辺目地には長さ1000mm程度の目地鉄筋をスラブプレートの穴に通しバランス良く両側に500mmずつとなるように、目地部へ敷設する。
- 2 建物周辺部や柱まわりなどでは、スラブプレート又はマルカンに長さ500mmの目地鉄筋を挿入する。
- 3 建物周辺部や隅角部及び階段室まわりなどで目地鉄筋によるパネルの固定ができない箇所は、ボルトと座金を用いてパネルを取り付ける。
- 4 建物周辺部で外壁用ALCパネルと床用ALCパネルとのすき間には、セメントモルタルを外壁用ALCパネルに密着させて充填する。

問題21 施工計画書の作成に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 施工者は、施工計画に基づき施工計画書を作成し、監理者の承認を受ける。
- 2 施工者は、専門工事業者を選定し、施工要領書を作成させ、内容の確認を行う。
- 3 施工計画書の内容変更は、監理者の承認を受ける。
- 4 施工計画書には、建設廃棄物の搬出・処分方法は記述しない。

問題22 ALCパネルの搬入計画に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 道路の一部を使用してパネルの搬入作業をする場合は、道路使用許可が不要なので、許可申請を計画しておく必要はない。
- 2 施工現場付近の交通事情を考慮して、搬入に適した曜日及び時間帯などを計画する。
- 3 大型又は中型トラックが直接進入できない現場では、小型トラックによる積み替え搬入や、専用の運搬台車による小運搬を計画する。
- 4 施工現場内への乗入れ車両の通路は、スリップやめり込みなどが起きないように、現場状況に応じた必要な処置がとれるように計画する。

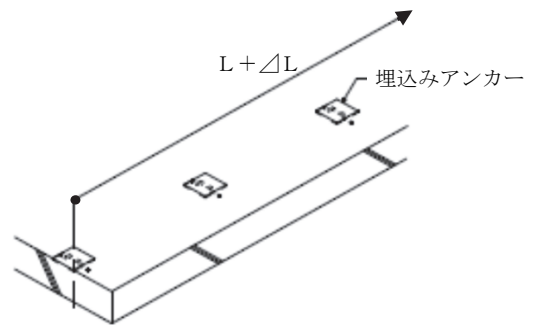
問題23 非構造の壁部材全般の耐震安全性を検討する上で注意が必要な箇所に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 階高が高く、中間梁などを用いて構成される外壁、間仕切壁
- 2 立ち上がり基礎の上に構成される外壁
- 3 外付けの階段室や外付けのエレベーターシャフト
- 4 吹抜け部分

問題24 ALCパネル工事の下地の検査項目の検査方法と測定箇所の説明に関して、最も不適当なものはどれか。

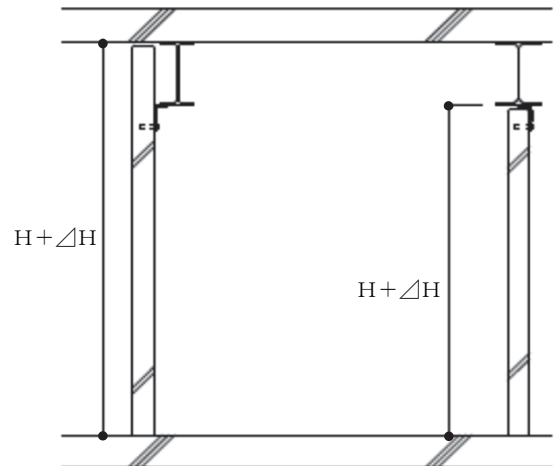
1 埋込みアンカーのピッチ：

埋込みアンカーの個数と当該壁面の長さ（ $L+\triangle L$ ）を測定し、平均ピッチ間隔を算出して、アンカーピッチとする。



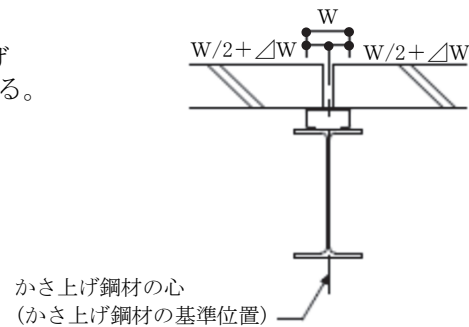
2 パネルが取り付け部分の高さ寸法：

パネルが取り付け部分の内法寸法（ $H+\triangle H$ ）を測定する。



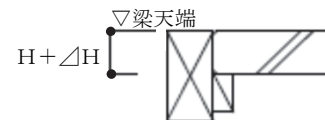
3 かさ上げ鋼材の通り：

かさ上げ鋼材の心（基準位置）から、かさ上げ鋼材の側面までの距離（ $W/2+\triangle W$ ）を測定する。



4 下地木材の高さ：

梁天端から、下地木材までの高さ（ $H+\triangle H$ ）を測定する。



問題25 ALCパネル工事に用いる材料に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 補修用セメントモルタル
- 2 溶接棒
- 3 合板
- 4 耐火目地材